

1975年6月のイタリア統一地方選挙について

藤 沢 道 郎

昨年春のイタリア地方選挙の結果については日本の新聞雑誌などにかなり大きく報道されているし、この選挙がイタリアの政治経済危機の中で大きな意義をもっていたこと、その結果がイタリア共産党の「歴史的妥協」路線の勝利に終わったこともすでに伝えられている。私としても、この結論に大筋において異論はないので、ここではやや詳しいデータを提供すればたるところ。ただ、このデータを読むための前提として、つぎの二点を指摘しておきたい。

まず、イタリア地方選挙の制度について。イタリアの地方選挙は、州 (regione)、県 (provincia)、市町村 (comune) の三つのレベルについて行なわれる。州選挙について言うとイタリアには全部で20の州があるが、今回の選挙はそのうち15州についておこなわれた。他の5州(ヴァレダオスタ州、トレンティーノ=アルトアディジェ州、フリウリ=ヴェネツィアジウリア州、シチリア州、サルデーニャ州)は、いわゆる特別州であって、1970年に中央の諸州

の自治権が認められる前から、それぞれ自治を認められ、選挙を行ってきたので、今回はまだ任期中なのである。県および市町村については、北部の特別2州をのぞいて全国いっせいに選挙が行なわれたが、任期途中で以前に解散、選挙をやったところはもちろん今回は含まれていない。だから、統一選挙といっても、必ずしも国民全体が三つのレベルの地方選挙に参加したわけではない。従って、第1表は15州の党派別得票を全国集計したもの、第2表は今回投票の行なわれた86県の党派別得票を全国集計したもの、第3表は第1表に出ている結果に今回州選挙の行なわれなかった地域の県選挙の結果を合わせたものである。前回の地方選挙(1970年)及び国会選挙(1972年)の結果も、それぞれ比較の都合上、今回選挙の行なわれなかった区域を除外して修正を加えてある。

選挙について言えば、三つのレベルとも分区分はなく、全州一区、全県一区、全市(町村)一区である。

第1表 州選挙の結果の全国集計

	1970年州選挙			1972年国会選挙		1975年州選挙		
	得票	%	議席	得票	%	得票	%	議席
PCI	7,586,983	27.9	200	8,121,117	28.3	10,149,135	33.4	247
PSIUP	878,697	3.2	16	536,341	1.9	—	—	—
PDUP	—	—	—	192,389	0.7	411,725	1.4	8
PSI	2,837,451	10.4	67	2,793,781	9.8	3,636,647	12.0	82
PSDI	1,897,034	7.0	41	1,498,846	5.2	1,700,983	5.6	36
PRI	787,011	2.9	18	825,155	2.9	961,016	3.2	19
DC	10,303,236	37.9	287	11,017,525	38.4	10,707,682	35.3	277
PLI	1,290,715	4.7	27	1,131,047	3.9	749,749	2.5	11
PDIUM	195,373	0.7	2	2,316,757	8.1	—	—	—
MSI	1,425,807	5.2	32	—	—	1,951,011	6.4	40
諸派	29,482	0.1	—	220,085	0.8	70,789	0.2	—
計	27,231,789	100.0	690	28,658,043	100.0	30,338,737	100.0	720

投票は主として政党（より正確に言えば政党
 政派の提出する候補者リスト）に対しておこな
 われ、投票者は自分の支持する政党のマークに
 するしをつけなければいだけである。候補者の名
 を書く欄もあるが、それは党のリストの中での
 順位を上下させるだけの効果しかない。県選挙
 と市町村選挙では、候補者の名を記す欄はない。
 議席は、規定以上の得票を得た政党政派の間で
 比例配分される。議員定数はそれぞれの選挙区
 の人口に応じて定められている。

国会選挙も州単位で、まったく州と同じ制度
 で投票が行なわれるから、今回の州選挙の結果
 をそのまま国会選挙と見なすと、国会議席の配
 分がどうなるか想定できることになる。つまり
 今回の州選挙がかりに国会選挙であったとす
 ると、各党の議席配分がどうなるか分るとい
 うことで、その想定の結果を示すと第4表にな
 る。すなわち、キリスト教民主党（DC）と共
 産党（PCI）の現在の議席差90が、一挙に37
 にちぢまり、名実ともに二大政党時代が来たこ
 とになる。

第2表 県選挙の結果の全国集計

	1970年 県 選 挙			1972年国会選挙		1975年 県 選 挙		
	得 票	%	議席	得 票	%	得 票	%	議席
PCI	7,400,418	26.7	701	7,975,941	27.2	10,101,761	32.7	860
PSIUP	958,296	3.5	73	595,128	2	—	—	—
PDUP	—	—	—	187,116	0.6	136,025	0.5	4
PC m.l.	4,058	—	—	89,815	0.3	—	—	—
MPL	—	—	—	110,987	0.4	—	—	—
PSI	3,061,332	11.1	274	2,893,876	9.9	3,933,700	12.7	330
PSDI	2,019,366	7.3	177	1,522,738	5.2	1,800,127	5.8	142
PRI	823,869	3	60	816,054	2.8	1,048,868	3.4	73
DC	10,337,715	37.3	1,023	11,538,796	39.4	10,732,902	34.8	946
PLI	1,353,292	4.9	101	1,142,864	3.6	846,841	2.7	43
MSI	1,657,897	6	139	2,410,516	8.2	2,093,237	6.8	161
諸 派	98,682	0.4	7	29,628	0.1	177,216	0.7	6
計	27,714,925	100.0	2,555	29,313,462	100.0	30,870,687	100.0	2,565

第3表 1975年地方選挙の全国集計（15州の州選挙+3州の県選挙）

	1970年 県 選 挙		1970年 州 選 挙		1972年国会選挙		1975年地方選挙	
	得 票	%	得 票	%	得 票	%	得 票	%
PCI	8,386,032	27.08	8,461,206	27.12	9,031,639	27.51	11,264,417	32.4
PSIUP	998,526	3.22	931,677	2.99	642,058	1.96	—	—
PDUP	—	—	—	—	220,860	0.67	417,725	1.2
PC m.l.	20,066	0.06	28,122	0.09	98,119	0.30	—	—
PSI	3,373,691	10.89	3,297,021	10.57	3,172,611	9.66	4,188,338	12.1
PSDI	2,304,245	7.44	2,143,904	6.87	1,692,479	5.16	1,961,041	5.6
PRI	991,682	3.20	939,136	3.01	944,672	2.88	1,144,341	3.3
DC	11,262,728	36.37	11,717,377	37.55	12,716,876	38.73	12,351,470	35.5
PLI	1,463,772	4.73	1,429,888	4.58	1,281,978	3.90	877,332	2.5
MSI-DN	2,092,705	6.76	2,160,977	6.93	2,873,637	8.75	2,383,807	6.9
IND. locali	43,836	0.14	65,809	0.21	—	—	—	—
諸 派	32,277	0.10	28,721	0.09	155,604	0.47	148,656	0.5
計	30,969,560	100.00	31,203,838	100.00	32,830,533	100.00	34,734,127	100.0

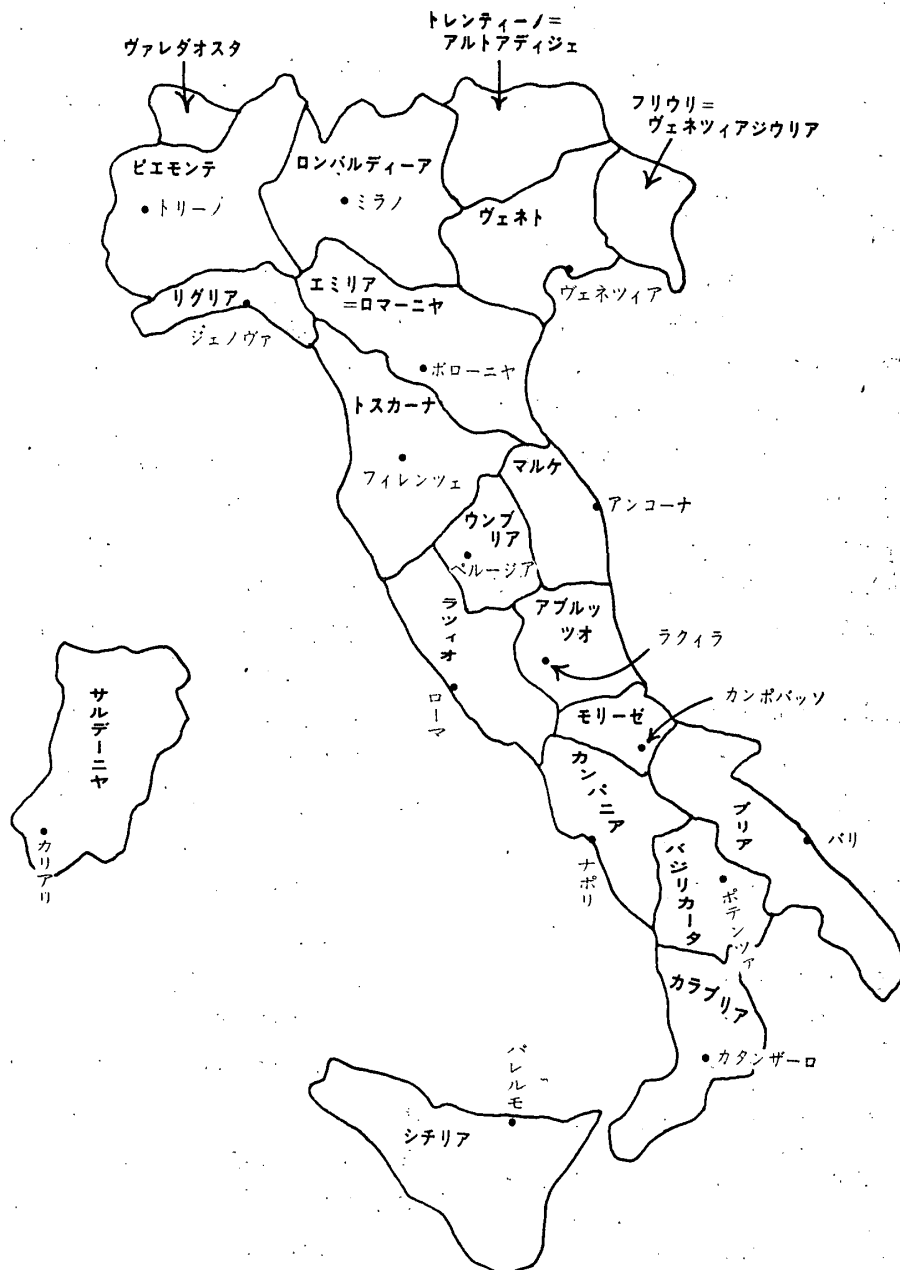
第4表 今回の州選挙を国会選挙と見なした場合の各党別想定議席数

政党	想定議席数	(現議席数)	増減
DC	243	(265)	-22
PCI	206	(175)	+31
PSI	74	(61)	+13
PSDI	31	(30)	+1
PRI	16	(15)	+1
PLI	10	(20)	-10
MSI	41	(55)	-14

首長（知事，市町村長）選挙の一般投票は行なわれない。各地方議会の多数を占める政党または政党連合に属する議員の中から首長が選出される。

イタリアの大なり小なり有力な政党はつぎの8つである。現在下院議席数の順で言えば，DC（キリスト教民主党），PCI（共産党），PSI（社会党），MSI（イタリア社会運動=ネオ・ファシスト），PSDI（民社党），PLI（自由党），PRI（共和党），PDUP（プロレタリア統一民主党）となる。このうち，DC，PSI，PSDI，PRIの

第1図 イタリアの州と州庁所在地



四党が、現在の中道左派政権の与党ないし準与党である。それより左に PCI と、かつての PSIUP（プロレタリア統一社会党）が新左翼の一部と合体して新たに登場した PDUP がある。この PDUP は、今回の地方選挙でも独自のリストを出さない選挙区では共産党に投票するように呼びかけているので、PCI の同伴政党と見なすことができる。右には PLI と MSI がある。前回の地方選挙で独自に候補を立てていた PDIUM（王党派）は 72 年以来 MSI に吸収されている。また MSI は、DN（国民右翼）という外郭団体をもっている。

今回投票の行なわれた 15 の正規州と三つの特別州は、しばしばつぎの四グループに大別される。すなわち、(1) 北部（ピエモンテ州、ロンバルディア州、リグリア州、エミリア＝ローマニャ州、ヴェネト州、フリウリ＝ヴェネツィアジュリア州）、(2) 中部（トスカーナ州、ウンブリア州、ラツィオ州、マルケ州）、(3) 南部（アブルツォ州、モリーゼ州、カンパニア州、プリア州、バジリカータ州、カラブリア州）、(4) 島部（シチリア州、サルデーニャ州）。今回選挙の行なわれなかった二つの特別州はいずれも北部に属する。また、南部と島部とを合わせて「南部」と総称されることも多い。第 1 図は、州と州庁所在地を図示したものである。

第二に注意しなければならない点は、イタリアの選挙では棄権がきわめて少なく、また選挙民はほぼ完全に政党系列下に入っているという事実である。

今回の地方選挙の投票率は 91.9% である。われわれの常識からするときわめて高率であり、ほとんど信じ難い数字であるが、第二次大戦後のイタリアではだいたいどんな選挙でも、これくらいの投票率は普通であって、驚くに当らな

いのである。前回の地方選挙の投票率も 91.5% であった。第 5 表を見れば、国会選挙の投票率はもっと高いことが分る。しかも、棄権者の大部分が、選挙権をもちながら選挙区に居住しない国外移民であり（1972 年の国会選挙では約 90 万の国外移民がやむなく棄権したと見なされ、これは有権者総数の約 2.5% に当る）、また投票する意志をもって実際には投票できない国内の出稼ぎ労働者や病人等を考えると、イタリアの有権者はほとんど全部選挙の日に投票に行っていると考えてもいいほどである。ファシズム時代以前の投票率が 40% から 60% の間にあったことを考えると、これは第二次大戦後の共和制イタリア政治の一つの大きな特徴であると言えるし、イタリアの特殊な国民性ということでは説明できない現象である。

この事実から引き出せる第一の結論は、イタリア国民のほとんど全部が、現在の議会制民主主義の枠を承認しているということである。つまり、議会を通して政治に参加するという意志をほとんど全社会が表明しているのであり、棄権主義、議会制否定の考え方は、社会的に有効な力をもっていないのである。第二の結論は、日本やアメリカに大量に存在するいわゆる「DK グループ」、政治的無関心層が、イタリアには存在しないということである。1972 年の国会選挙では、3 千万世帯が選挙速報をラジオ、テレビを通じて視聴した。これと同じ視聴率を誇り得る番組は、サッカー世界選手権実況、歌謡祭「カンツオニッシマ」のフィナーレ中継、最初の月面着陸実況の三つしかなかったのである。

選挙制度が完全に政党本位制になっていて、無所属や臨時的な運動体が事実上選挙には出られないようになっていることを考え合わせるとこの高い投票率がそのまま強度の政党系列化の傾向と結びついていることが分る。5 年に一度の選挙の日にだけ支持政党を決めるのではなく日頃から支持政党がはっきりしており、新聞もその政党の機関紙またはその政党系の商業紙を講読する、というのが一般的である。一人の有権者がどの政党を支持するかということは、選挙期間だけでなく、かれの日常生活の中に食い込んだ問題なのである。

第 5 表 戦前と戦後の投票率
(いずれも下院選挙)

年		1861	1870	1882	1900	1913	1921
投票率(%)		57.2	45.5	60.7	58.3	60.4	58.4
年	1946	1948	1953	1958	1963	1968	1973
投票率(%)	89.1	92.2	93.8	93.8	92.9	92.8	93.1

だから、8つの主要政党はそれぞれ非常に固い基礎票をもっており、容易なことでは他党に移動しない。つまり、我が国でよく言う「浮動票」というものが存在しない。少なくとも非常に層がうすいのである。候補者リストの中に有名なタレントを挿入して大量に票をさらうというようなことは、できない相談であろう。

こういう状態だと、「地すべりの圧勝」というようなことはなかなか実現し得ないだろう。近年では、総体としての票の移動は、総投票数の15%を超えることがひじょうにむつかしくなっている(第6表参照)。それだけ政党系列化

第6表 戦後の国会選挙における
政党間の票の移動率

年	46~ 48	48~ 53	53~ 58	58~ 63	63~ 68	68~ 72
% (総投票 に対する)	44.8	25.4	8.8	16.0	15.2	9.6

が強まっているのである。今回の地方選挙でも総投票中の支持政党移動率は、1972年の国会選挙と比べて8.7%、前回の地方選挙(1970年)と比べても10.1%にすぎない。つまり、有権者10人に対して、この5年間に、支持政党を変えた者は一人しかないという勘定になる。今回の選挙から、選挙権年齢が18才に引き下げられ、一挙に200万の有権者が増えたことを考えると、実際の票の移動はもう少し少なく見つかった方がいいかも知れない。

このような状況の中では、2%も得票率を増やせば、大勝利ということになる。1972年から75年の3年間で、共産党が5.1%増し、DCが3.1%減じた、ということの意味は、そういう事情をよくのみこんでおかないと評価しそこねることになるだろう。

投票率の高さからして、たとえばPCIが30%の得票率をあげたということは、正味30%の国民の支持を得たということの意味する。日本の場合なら、かりに自民党が50%の得票率を得たとしても、投票率が60%ならば、正味30%の支持しか得ていないことになるのである。

しかし、こういう状況のなかでは、どの党にしても、一挙に票を伸ばすということは不可能であり、5年に一度の選挙で2%伸びればいい

方だということであれば、いくら強力なイタリア共産党でも、過半数の得票を挙げ得るのは途方もない未来のことだということになる。いや、こういう状況の中では、いずれかの政党が単独で過半数を獲得するような事態は、起り得ないと見る方が、現実には即しているのであろう。

従って、諸党間の連合、提携、協力ということが問題にならざるを得ない。政府構成にしても、何かの党の単独政権ということは、考えられないのである。今回の地方選挙が、現在の「中道左派」政権の将来を占うものとして大きな意味をもつと言われ、パーセンテージにすればほんのわずかの票の移動に対して、各党がひどく神経を使い、一喜一憂するのも、こういう背景を考えなければ理解できないように思わ

第7表 地域別各党得票率推移 (1963~1975)

党	年					
	1963	1968	1970	1972	1975	
北 部	PCI	23.4	25.8	26.0	26.5	33.6
	PSI	15.7		10.5	10.5	12.9
	PSDI	7.4	16.0	7.5	5.9	5.8
	PRI	1.1	1.5	2.8	3.1	3.2
	DC	38.4	39.4	38.6	39.3	35.5
	PLI	8.0	7.1	5.7	5.1	3.1
	MSI	3.4	2.9	3.6	5.2	4.2
中 部	PCI	32.1	34.2	34.2	34.4	39.5
	PSI	13.6		8.8	8.3	10.4
	PSDI	5.4	13.2	6.7	4.9	4.9
	PRI	1.9	2.3	3.1	3.1	3.2
	DC	32.8	33.5	32.7	33.7	30.8
	PLI	5.9	5.3	3.9	3.0	1.8
	MSI	6.7	5.6	6.7	9.4	7.5
南 部	PCI	24.4	24.7	23.3	24.4	27.3
	PSI	11.2		11.1	9.2	12.9
	PSDI	4.7	13.7	5.9	4.2	5.8
	PRI	1.0	1.9	2.9	2.2	3.0
	DC	42.4	42.8	41.5	41.7	39.0
	PLI	5.0	3.6	3.2	2.2	1.9
	MSI	6.7	6.2	7.8	13.2	10.2
島 部	PCI	23.3	22.7	20.2	22.2	25.2
	PSI	10.9		11.1	8.5	12.4
	PSDI	4.2	11.3	5.6	3.7	5.5
	PRI	2.5	3.8	4.0	2.7	4.5
	DC	39.7	41.0	39.6	40.1	37.4
	PLI	8.1	5.4	4.8	3.5	3.0
	MSI	6.9	5.9	6.8	14.8	10.7

れる。共産党のいわゆる「歴史的妥協」の路線もこういう状況の中で「中道左派」に代る新しい連立の方向をうち出したものとして、大きなセンセーションを引き起したのである。

この選挙の結果は、共産党の躍進、DC の凋落と出た。極右 MSI は頭うちの状態で、72 年の躍進と比べると得票力が落ちている。社会党は善戦、民主・共和の両党は基礎票を守り抜いたが、自由党は半減し、将来を危ぶまれる状態となった。

DC 随一の実力者ファンファーニ書記長は、選挙後多くの時日を終ずして失脚し、中道左派政権の危機は今日なお続いている。

注 統計数字は、『リナスタ』誌 1975 年 6 月 20 日号。『コルリエーレ・デラ・セーラ』紙同年 6 月 18 日号、及び、「Un sistema politico alla prova», a cura di M. Caciagli e A. Spreafico, Bologna 1975 によった。

第 8 表 州別各党得票率及び議席数
(フリウリ=ヴェネツィアジウリア, シチリア, サルデーニヤの 3 特別州は県会選挙, 他の 15 正規州は州会選挙の結果を示す。また, カッコ内は前回地方選挙と比較しての増減)

	PCI	PDUP	PSI	PSDI	PRI	DC	PLI	MSI
ピエモンテ	33.9%(+8.0) 22議席(+9)	/	12.9 (+2.3) 8 (+3)	7.4(-0.9) 4 (±0)	3.6(+0.5) 2 (+1)	32.1(- 4.6) 20 (± 0)	5.0(-3.0) 2 (-2)	4.3 (±0) 2 (±0)
ロンバルディア	30.4(+ 7.3) 25 (+ 6)	2.4 2	14.1 (+1.7) 11 (+2)	5.2(-2.0) 3 (-2)	3.1(+0.7) 2 (±0)	37.5(- 3.4) 32 (- 4)	2.8(-3.2) 2 (-2)	4.5 (+0.2) 3 (±0)
リグリア	38.4(+ 7.1) 16 (+ 3)	/	13.5 (+2.2) 5 (+1)	5.5(-2.1) 2 (-1)	3.5(+0.5) 1 (±0)	30.4(- 1.7) 13 (- 1)	3.9(-3.5) 1 (-2)	4.6 (+0.2) 2 (+1)
ヴェネト	22.8(+ 6.0) 14 (+ 5)	1.5 0	12.8 (+2.3) 8 (+3)	6.3(-1.3) 3 (±0)	2.5(+0.6) 1 (±0)	48.0(- 3.9) 31 (- 3)	2.3(-1.9) 1 (-1)	3.8 (+0.4) 2 (+1)
エミリア=ロマーニヤ	48.3(+ 4.3) 26 (+ 2)	/	10.2 (+2.2) 4 (+1)	5.2(-2.3) 2 (-1)	3.9(-0.1) 2 (±0)	25.3(- 0.5) 13 (- 1)	1.8(-1.8) 1 (±0)	3.7 (+0.5) 1 (±0)
トスカーナ	46.5(+ 4.2) 25 (+ 2)	2.1 1	10.7 (+2.0) 4 (+1)	3.9(-2.5) 2 (-1)	2.6(+0.4) 1 (±0)	28.5(- 2.1) 15 (- 2)	1.2(-1.4) 0 (-1)	4.2 (+0.3) 2 (+2)
ウンブリア	46.2(+ 4.4) 14 (+ 1)	1.1 0	13.9 (+4.4) 4 (+1)	2.4(-1.9) 1 (±0)	2.4(±0) 1 (±0)	27.6(- 2.5) 9 (±0)	0.8(-1.1) 0 (±0)	5.6 (+0.2) 1 (-1)
マルケ	36.9(+ 5.1) 15 (+ 1)	2.1 1	9.8 (+1.4) 4 (+1)	5.3(-1.0) 2 (±0)	3.4(-0.8) 1 (±0)	36.5(- 2.1) 16 (- 1)	1.5(-1.2) 0 (-1)	4.5 (+0.4) 1 (0±)
ラツィオ	33.5(+ 7.0) 21 (+ 8)	1.5 1	9.8 (+1.0) 6 (+2)	6.1(-1.5) 3 (±0)	3.7(-0.1) 2 (±0)	31.5(- 1.7) 20 (+ 2)	2.5(-3.3) 1 (-2)	11.3 (-0.2) 6 (±0)
アブルッツォ	30.3(+ 7.5) 13 (+ 3)	/	10.2 (+1.3) 4 (+1)	6.2(+0.7) 2 (±0)	2.6(+0.1) 1 (±0)	42.5(- 5.7) 18 (- 2)	1.8(-1.1) 0 (-1)	6.4 (+0.4) 2 (±0)
モリーゼ	17.9(+ 2.9) 6 (+ 1)	1.2 0	10.1 (+0.6) 3 (±0)	6.2(-1.4) 2 (±0)	4.5(+1.5) 1 (±0)	49.9(- 2.2) 16 (±0)	4.5(-1.5) 1 (-1)	5.0 (+0.5) 1 (±0)
カンパニア	27.1(+ 5.0) 16 (+ 3)	1.1 1	10.4 (-0.6) 6 (-1)	6.6(-1.5) 4 (±0)	3.6(+0.5) 2 (±0)	36.7(- 3.2) 23 (- 3)	2.0(-3.3) 1 (-1)	12.2 (+1.2) 7 (+2)
プリア	28.5(+ 2.2) 15 (+ 1)	/	11.9 (+1.2) 5 (±0)	4.7(+0.6) 2 (±0)	2.3(±0) 1 (±0)	39.2(- 2.1) 21 (- 1)	1.7(-1.0) 1 (±0)	10.8 (+1.1) 5 (+1)
バジリカータ	27.1(+ 3.1) 9 (+ 2)	/	13.2 (+0.5) 4 (±0)	6.9(-1.9) 2 (±0)	1.6(-0.1) 0 (±0)	41.9(- 0.5) 13 (- 1)	2.1(-1.0) 0 (-1)	6.4 (+1.6) 2 (+1)
カラブリア	25.2(+ 2.0) 10 (±0)	2.7 1	14.7 (+0.6) 6 (±0)	5.3(+0.2) 2 (±0)	3.0(-1.1) 1 (±0)	39.5(- 0.2) 17 (±0)	1.3(-1.4) 0 (-1)	8.3 (+1.5) 3 (+1)
フリウリ=ヴェネツィアジウリア	24.9(+ 5.0) 29 (+ 8)	/	13.3 (+2.6) 15 (+5)	7.8(-2.9) 8 (-3)	3.0(+0.4) 3 (+2)	37.8(- 3.3) 42 (- 1)	2.7(-2.3) 1 (-4)	6.6 (+0.4) 7 (+1)
シチリア	22.9(+ 3.0) 70 (+ 6)	/	12.5 (+1.2) 38 (+4)	5.6(+0.2) 16 (±0)	5.0(+0.1) 14 (±0)	38.8(- 1.5) 113 (-17)	3.1(-1.8) 6 (-7)	11.4 (+2.8) 31 (+8)
サルデーニヤ	32.5(+10.9) 35 (+16)	/	12.2 (+2.0) 13 (+3)	5.2(-1.1) 6 (±0)	2.8(-0.3) 3 (±0)	33.3(- 4.3) 39 (- 3)	2.6(-2.1) 2 (-2)	8.2 (+0.1) 8 (+1)

第8表 主要都市市会選挙各党別得票率と議席数

カッコ内は前回選挙との比較。なおローマとジェノヴァは今回選挙が行なわれていない。

	PCI	PDUP	PSI	PSDI	PRI	DC	PLI	MSI
トリーノ	37.8%(+8.9) 31議席(+7)	/	12.7(+2.2) 10(+2)	7.4(-1.6) 6(-1)	4.5(+0.4) 3(±0)	24.2(-3.7) 20(-3)	5.5(-5.3) 4(-4)	6.0(-0.2) 5(±0)
ミラノ	30.4(+7.7) 25(+6)	3.7 3	14.8(+0.7) 12(±0)	6.4(-4.1) 5(-3)	6.0(+1.2) 4(±0)	26.9(+0.6) 22(±0)	4.6(-6.5) 3(-6)	7.2(+0.5) 6(+2)
ヴェネツィア	34.3(+7.8) 22(+5)	2.5 1	16.2(+5.5) 10(+2)	6.2(-2.8) 4(-1)	3.6(+0.1) 2(±0)	29.6(-2.1) 18(-3)	3.0(-2.6) 1(-2)	4.4(-0.2) 2(±0)
フィレンツェ	41.5(+6.4) 26(+4)	1.9 1	10.4(+0.9) 6(+1)	5.2(-5.4) 3(-3)	3.7(+1.7) 2(+1)	29.0(-1.1) 18(-1)	2.3(-2.2) 1(-2)	5.2(±0) 3(±0)
ボローニヤ	42.5(-6.5) 27(-4)	/	7.5(-1.8) 4(-1)	10.5(+3.8) 6(+2)	2.7(-0.2) 1(±0)	21.3(-1.9) 14(±0)	7.3(+3.6) 4(+2)	4.9(-0.3) 2(-1)
ナポリ	32.0(+6.0) 27(+5)	1.5 1	7.0(-0.4) 5(-1)	5.9(-1.2) 5(±0)	3.1(+0.5) 2(±0)	28.4(-5.6) 24(-4)	2.0(-2.6) 1(-2)	18.7(+2.9) 15(+2)
タラント	33.4(+3.0) 18(+2)	/	10.5(+1.1) 5(±0)	2.3(-2.5) 1(-1)	3.4(+1.1) 1(±0)	36.7(-1.5) 20(±0)	1.8(-1.2) 1(±0)	8.6(+0.5) 4(±0)
パレルモ	18.4(+4.9) 15(+4)	1.4 1	9.4(-0.3) 8(±0)	4.8(-1.6) 4(-1)	7.0(-1.6) 5(-2)	41.7(+1.0) 35(+1)	3.9(-2.1) 3(-2)	10.4(+0.8) 8(+1)
メッシーナ	9.2(+1.0) 5(±0)	/	15.9(+3.4) 10(+3)	7.6(-5.0) 4(-4)	3.8(-1.4) 2(-1)	42.3(+4.6) 27(+3)	5.4(-3.7) 3(-2)	15.4(+4.0) 9(+3)
カリアリ	23.9(+8.6) 13(+5)	2.5 1	14.5(+4.5) 7(+2)	5.1(-1.8) 2(-1)	3.0(-0.1) 1(±0)	35.8(-4.0) 20(-2)	3.3(-5.3) 1(-3)	9.8(+0.3) 5(+1)